

石川県能登町における 中学校武道相撲の取組

能登町教育委員会

能登町は能登半島の北東部に位置し、平成17年3月に能登町、内浦町、柳田村が合併して誕生した。自然豊かで、海の幸、山の幸に恵まれた町である。特に、冬の日本海から取れる寒ブリや、全国有数の漁獲高を誇る船内冷凍されたスルメイカが有名である。町内には真脇遺跡があり、縄文時代よりイルカ漁などによって定住し、集落があったと考えられている。また、各地区では祭りが盛んで、春には小木の伴旗祭り、に始まり、夏には宇出津のあばれ祭り、恋路の火祭り、鵜川のわか祭、秋には柳田大祭など、主なものでも各地区で年間28の祭りが催される。まさに、海よし、山よし、祭りよしといわれる町である。



【日本遺産】
宇出津あばれ祭 (左上)
鵜川にわか祭 (右上)
柳田大祭 (左中)
恋路火祭り (右中)
松波人形キリコ祭り (下)

1 はじめに

能登町には、中学校が4校あり、いずれも小規模校である。平成24年度よりはじまった中学校での武道必修化に伴い、3校が剣道、1校が柔道を実施していた。

元来、能登町は相撲が盛んで、古くは横綱阿武松緑乃助（おおのまつみどりのすけ）を輩出しており、現在でも大相撲で能登町出身力士が関取を目指して頑張っている。以前、小学校では創立記念日に

相撲大会を実施し、中学校では各学校に相撲部があり、全国大会でも上位入賞していた。現在、相撲部がある中学校は2校となっている。相撲の面白さや相撲を通して礼儀の大切さ等を教えたい、という思いから、平成27年度より能登中学校において、保健体育の時間に相撲を実施することにした。なお、相撲は石川県下でも初めての取組となった。

2 相撲を実施するにあたって

相撲の実施に向けて、当該中学校より次の3つの課題が挙げられた。

- ①指導者に関して
- ②土俵、まわし等の施設、用具に
- ③女子への指導に関して

①の指導者に関しては、当該校の体育教師に相撲経験がなく、技術指導で不安があるとのこと。能登町は相撲が盛んなところであるので、早速、地域の指導者に外部指導者として協力願った。

石川県教育委員会の武道等指導充実・資質向上支援事業を活用し、期間中10回20時間の招聘を行った。

②の土俵、まわし等の施設、用具に関しては、まず、土俵については、体育館での実施を想定して



相撲パンツ



総高515cmの巨大な横綱阿武松碑

相撲パンツを体操服の上から着装することで、着替えが短時間で可能になり、まわしへの抵抗感も払拭することができたと考えている。

③の女子への指導に関しては、押しの姿勢の指導で、胸を押すのではなく、腰を押す指導で対応する。また、県の事業で女子相撲のトップアスリートを招聘し、女子の競技としての認識を深める。



松浦みな美氏による四股の指導



松浦みな美氏による取組の指導

3 授業への実践

実施初年度として、次の3つのねらいを大切にしたい。

①相撲の楽しさを知らせる。
②礼儀や相撲の作法を身に付ける。
③怪我の予防に万全を期す。

授業としての相撲の特性(利点)として、次のことが考えられる。

①ルールが簡単で、勝敗が分かりやすい。
②初歩的段階から試合を楽しむことができる。
③勝敗が短時間でつくので、多くの対戦ができる。

④まわしの代用が可能であり、簡単な用具で短時間で準備できる。
⑤狭い場所でもでき、運動量が確保しやすいこと。
⑥様式や用語等が生活の中に根付いており、武道の精神や技術指導の由来を伝えやすいこと。

これらのねらいを達成するため、相撲の利点を通して、まず、1年次に10時間の授業計画を立てた。(指導計画参照)

さらに、2年次に10時間実施し、計20時間の予定である。体育の授業として、2年次は相撲をバランスの崩し合いという視点でとらえ、押し、寄りだけでなく「投げ」に取り組みさせていきたい。

武道の一つである相撲として、次の点を重視した。

相撲は日本古来の武道であり、国技である。日本古来の伝統文化に触れながら、礼を身に付け、相手を尊重する心を育てる。

○**蹲踞** 戦う前に心を落ち着かせる動作。
○**塵浄水** 手の中に何も武器は持っていないことを示し、正々堂堂と戦うことを宣言する動作。
○**四股** 地下にある邪悪な魂を鎮める。相撲の稽古で最も基本となるもの。体重を移動してから片足を上げる。
○**すり足** 土俵内を俊敏かつ安定した足の運び方で、腰を下ろした安定した型を作る。

指導計画

配時	主な学習活動	評価規準【評価観点】
1	◎学習Ⅰ(オリエンテーション) ・相撲の特性やねらい及び計画を知る。 ・約束やマナーを確認する。 ・相撲の歴史を知る。 ・大相撲力士等について知る。 ・基本的知識を身に付ける。 ・相撲遊びを行う。	相撲の学習に積極的に取り組もうとしている。【関・意・態】
2	◎学習Ⅱ ○ねらい1(基本動作を身に付け、楽しんで相撲遊びができる)	技の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。【知・理】
3	〈基本動作〉 ・蹲踞・塵浄水	技を身に付けるための運動の行い方のポイントを見つけている。【思・判】
4	・中腰の構え・腰割・四股	
5	・運び足(すり足) ・寄り 〈簡易な試合〉 ・陣取り相撲 ・押し合い相撲 ・寄り合い相撲 〈審判員の役割〉	中腰の姿勢や四股等の基本動作ができる。【技能】
6	◎学習Ⅲ ○ねらい2(基本技を身に付け、簡易な試合ができる)	技を身に付けるための運動の行い方のポイントを見つけている。【思・判】
7	〈基本動作〉 ・調体・仕切り・立ち合い ・受け身	受け身をとるなど健康・安全に留意している。【関・意・態】
8	〈基本技〉 ・押し・寄り ・出し投げ ・上手投げ・下手投げ・掬い投げ	仕切り・立ち合いから押し・寄り・投げができる。【技能】
9	◎学習Ⅳ ○ねらい3(試合の仕方を学び、団体での試合ができる)	禁止技を用いないなど健康・安全に留意している。【関・意・態】
10	・禁止技・危険な組み手を学ぶ ・団体戦を行う	試合の行い方について学習した具体例を挙げている。【知・理】

4 成果と課題

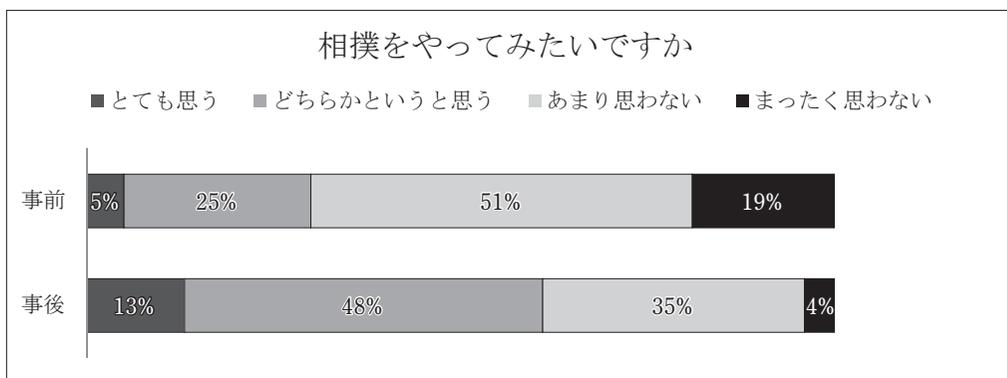
成果としては、相撲の授業を終えた後の生徒の笑顔である。十分な運動量が確保され、体を良く動か

かした、力を出し切ったという充実感が感じられた。「相撲をやってみたいですか」の

アンケート結果からもわかるように、肯定的回答が事前では30%だったのに対し、事後では61%に増加した。初年度の大きな目標である、相撲の楽しさを知らせることにはある程度達成できた。

当初予想された女子の相撲に対する抵抗感は、相撲パンツの使用

で取り除くことができたと考えている。ただ、サイズが横のラインの色で分かることについて、恥ず



かしいという意見が1件あり、早速改善を加えた。むしろ、女子の相撲に対する積極性が見られたことは、予想外ではあったが、大変うれしい現象であった。指導においても腰や腕を押すことは自然であり、違和感はなかった。

トップアスリートとして、アジア女子相撲軽量級優勝者の松浦みな美氏を招聘し、指導を受けたことも生徒に大きな感動を与えた。一つ一つの基本技の美しさや、両手と頭で三角形を作って押すなど分かりやすい説明。何よりも、いっしょに取組できたことがうれしかったようである。

【生徒の感想より】

- 試合ができて楽しかった。
- すもうのイメージが変わった。楽しくなさそう、痛そうから、痛いけど楽しい。
- まわしを持ち、いろいろな技を仕掛けるのが楽しかった。
- 技がいっぱいあって、他にどんな技があるのか知りたくなっ



力のこもった取組

10時間の授業で、四股の時、膝が痛い等があったが、大きな怪我はゼロだった。取組前の柔軟や四股を丁寧に行ったことと、取組で皆の声援の中、真剣に行ったこと

た。先生と相撲をしたのが楽しかった。また、来てほしい。

▼四股、蹲踞がきつい。

▼基礎練習の時、楽しくなかった。

▼人前でやるのが、恥ずかしかった。

5 おわりに

が要因として考えられる。課題としては、事後でも否定的感想は39%あり、更に工夫改善が必要である。生徒にとって、達成感のある授業を実践することである。

具体的な取組例として、

- ①各自の目標を持たせること。
- ②技の習得や工夫をさせること。
- ③ICT機器を活用し、自分の様子を確認し、上達や頑張りを評価できるようにすること。
- ④指導者として、研修等を生かし、一層の指導力の向上を図る。

今回、様々な不安を抱えながら相撲の授業に取り組んだが、一つ一つの課題に丁寧に対応し、生徒に相撲の楽しさを伝えることができたと思う。これも、学校現場と能登町教育委員会が綿密に連携をとり合ったこと。石川県教育委員会の武道等指導充実・資質向上支援事業により、講師派遣やトップアスリート等派遣があり、達成できた。今後は、先にも述べたが、2年次の指導内容を研究し、生徒の学びや気付きがより多くなるよう相撲の授業改善に取り組んでい



授業を終えて松浦みな美氏と記念写真

NHK G-Media

定価880円(税込)

「展望号」を番付発表の3日後、「決算号」を千秋楽の4日後に発売。

大相撲ジャーナル

2016年5月号

「平成28年春場所決算号」

▼ 春場所の優勝力士

春場所の優勝力士の勝因を詳細に分析して春場所全体を総括する。

▼ 丸親方の春場所総決算

元横綱武蔵丸の武蔵川親方が、琴奨菊が綱とりに挑戦した春場所を総決算して一刀両断に論評する。

▼ 「座談会」春場所を語る

元大関武双山の藤島親方と元関脇益荒雄の阿武松親方が荒れる春場所を語りつくす。司会は本誌編集長の北出幸一。

▼ 春場所

「15日間完全密着プレイバック」

春場所の15日間の幕内の取組をカラーページで再現する。激闘がすべて再登場する。支度部屋の力士の生の声も採録。

▼ 「手さばき」で振り返る春場所

ベテラン相撲編集者が幕内力士の取組の体の動きを文字で表現する「手さばき」の好評連載企画。

▼ 「どす恋花子」の

勝ち越しクエスチョン

▼ 「角界ファミリー」



表紙は「平成28年春場所展望号」です

▼ 「大相撲と私」

「新・わが部屋全員集合！」 入間川部屋 ほか

株式会社アプスタイル

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-37-4 友田三和ビル 4F

TEL:03-5283-6151 FAX:03-5283-6153